

【美里町議会】 18号(2023年8月発行)

【全体】

- ①フォントサイズが大きく読みやすい／色使いとカラー写真を巧みに使っている。
- ②ポイントは大きいですが、活字だらけに見えて読み進めようとは思わない。
- ③色が多いわけではないが、薄い青・青・濃い青など色を微妙に変化させるとページの印象が薄くなる。色をメリハリよく使った方がいい。
- ④例えばP 8に「職員1人と地域おこし協力隊1名の2名体制」とあるが、「人」と「名」は統一したい。また、漢字・平仮名表記など広報用の書き方があるので、言葉使いを確認したい。

【表紙】

- ⑤子供たちのジャンプの写真がいい。
- ⑥写真7枚が同じアングルで変化がない。同じアングルなら大きく1枚の方がインパクトがある。
- ⑦「きらり」「未来にジャンプ～」「小さくても～」と文字が表紙を横断していて、くどく感じる。
- ⑧表紙に情報量が多いと堅苦しく感じる／写真説明だけが縦書きで、一瞬どう読むのか考えた。

【P2～3】

- ⑨P 2。議決事項が先にあり、後に各項目を説明するスタイルは分かりやすい。
- ⑩難しい表と活字ばかり／表紙を開けてすぐの見開きに魅力がない。読み進む気にならない。
- ⑪議決事項は、議員の賛否を明らかにした方が読者の関心が高まるのではないか。

【P4～9】(一般質問)

- ⑫議員1人に1ページは良い／「町政のここが知りたい」のキャッチコピーは親しみが湧く。
- ⑬問と答弁の字体の色を変え、見やすくしている／4色の色使いで読者を引きつける効果がある。
- ⑭質問内容は簡潔で、答弁を詳しく記載してあり参考になる。
- ⑮段落に2段と3段がある。P 4は一般質問の表題があるから3段にできないのかもしれないが、統一したほうがいい。3段が読みやすいと感じた／1行が長いと活字を追うのにきつい。
- ⑯P 4上部の一般質問についての説明は親切／毎回掲載なのか／説明文は必要ないのでは。
- ⑰ページ上部になぜ横長のイラストが入るのか。紙面を邪魔している印象。入れたいなら、下に。
- ⑱「問」と答弁側のポイントが違うのは、どんな効果を目的にしているのか。
- ⑲質問の大見出しに「～について」がないのはいいが、「その他の質問」などには散見される。

【P10～11】

- ⑳両ページとも大見出し、小見出しとフォントが違うので違和感があり、ゴテゴテしている。
- ㉑P 10。「一般会計補正予算を審議」とあるが、審議された様子も見当たらず、分かりにくい。
- ㉒P 11。議会活性化の取り組みは中身が薄く、特集の名が泣く。1ページはほしい。今後に期待。
- ㉓議会ボランティアは、実際に分別している様子を出せばリアリティーが増したのでは。

【P12】(裏表紙)

- ㉔中高生の声は若者の意欲につながる／人選はどうしているのか。
- ㉕寄稿は町政やまちづくり、議会、選挙などに関連する内容がいい。
- ㉖右欄は段落の一マス空けがない。左欄は改行がゼロ。文章ルール上からも校正が必要。
- ㉗広報委員枠の●印囲みは異様に感じる。

【アンケート関連】

- ㉘提出後の記事は広報委員に一任／校正の段階で役場の担当課に見てもらう。
- ㉙委員会が大まかなレイアウトを印刷所に伝え、作成を一任。18号より編集ソフトを使用。
- ㉚QRコードを載せて一般質問の全文が読めるようにし、動画で見られるようにしたい(計画)。
- ㉛報告書のカラーを破るにはどうしたらいいか。

【和水町議会】 64号(2023年5月発行)

【全体】

- ①全体的に薄い色合いで統一され、見やすい紙面／紙面をカラー分けして見やすく工夫してある。
- ②文字が大きく、余白もあって読みやすい（P 2～7）／写真が少ない／字が多く、息詰まる印象。
- ③横書き中心の紙面は読みやすい。ただ、最終ページの縦書きは良い。

【表紙】

- ④下2枚の写真のインパクトが弱い。入場をパノラマ撮影で撮るなどデザインを高めてほしい。

【P2～3】

- ⑤開いた瞬間に予算額の数字が目飛び込んできて、何を記したページかが一瞬で分かる。フォントと影も効果的。
- ⑥リード文が詳しく、どんな議会だったのかの概要がつかめる（P 3の説明文も）。
- ⑦リード文中に予算に対する討論があり、反対3賛成7で可決とある。その内容の記事がほしい。
- ⑧令和5年の特別会計がP 2とP 7に記載してある。P 7のみでいいのでは。

【P4～7】

- ⑨議案審議は全てを載せるより、選択して載せた方が読んでもらえるのではないかと
- ⑩採決結果に2票はもったいない。ここに討論の内容を載せれば、白熱した議会が見えるだろう。
- ⑪「原案可決」表示の「//」は好ましくない。
- ⑫P 7。当初予算の説明は、イラストを使うことで項目ごとの金額が分かりやすい。

【P8～9】

- ⑬委員会報告が課ごと、事業ごとに分けてあるので読みやすい／配色が見づらい／文字が小さい。
- ⑭委員会審査報告は、右は事業の紹介、左は質疑内容となっている。統一したほうがいい。

【P10～11】

- ⑮付帯決議は議会としての姿勢が示され、内容もよく分かる。
- ⑯議会人事報告で、辞職する議員の挨拶の中に「県議選に出馬するため」と書いてあるが、公の広報紙（町費）に選挙活動ととられる文言を掲載してもいいのか疑問。
- ⑰視察研修は長いので、分けて書いたら／視察の写真2枚には説明が必要。

【P12～15】(一般質問)

- ⑱1人半ページでコンパクト。そのためか歯切れのいい表現になっているが、半面、はしよりすぎて消化不良の箇所もある。質問項目を絞るなどの工夫が必要だろう。
- ⑲顔写真8枚が横向きすぎる。紙面の内を向かせる狙いは分かるが、ここまでそろとうと不自然。

【P16】(裏表紙)

- ⑳傍聴記は提言が具体的かつ鋭い。こういう読者がいることを自戒としたい／投稿者の探し方は。
- ㉑「議会のうごき」は議会以外の議員の活動が見えていい。
- ㉒町民の寄稿と編集後記のみが縦書きなのはなぜか／最終面が少し寂しい気がする。

【アンケート関連】

- ㉓配布先として学校、窓口、図書館、近隣市町村など。
- ㉔1部当たり経費89円（グループ内の最高額。よって写真、イラストが鮮明とのコメントあり）。
- ㉕公式ラインを使用した議会だよりに対するアンケート調査（計画）。
- ㉖近隣自治体での広報研修／広報紙に載せていい表現といけない表現／肖像権の取り扱い。

【大津町議会】103号(2023年5月発行)

【全体】

- ①住民と議会が一体化しているようだ／写真や構成に動きがある／写真が多く、明るく見やすい。
- ②文字が大きく読みやすい／タイトルのフォントがいい／各ページの端に「目次」がついている。

【表紙】

- ③動きが感じられインパクトがある／アプリがあり、読者に分かりやすい／目次なしは意図的か。

【P2~3】

- ④予算記事の中に、町民の声が載せてあるのはすごい。取材は大変だろう／その手がありましたか、という思い／予算が町民のものであると感じさせる仕上がり。
- ⑤直接民主制に近づき良いと思うが、情報の浅さと偏りが解消できない現状では、ポピュリズムを生む土台とならないか／町事業のPR色が強い。
- ⑥「詳しい内容は広報おおつ〇月号〇〇に掲載」とあるのは、町広報とのダブりを少なくし、使えるスペースを広げている／P3。審議結果の省略は、ページが有効に使える。
- ⑦「議員の視点」は町民の興味をそそる／「視点」は本会議での質疑なのか？
- ⑧「議員の視点」に掲載された8人以外はどうなっているのか。1人は顔写真なし。なぜか（P14の一般質問も）。

【P4~9】

- ⑨委員会レポートは、見開きの大見出しに迫力がある。文言も硬くなく、メッセージ性がある。
- ⑩レポートは文字が大きくゆったり感がある。写真も大きい。情報の取捨選択ができています。

【P10~14】(一般質問)

- ⑪冒頭の一般質問についての説明文は簡潔で、質問本文への導入として親切。
- ⑫「16名中9名が登壇」の「名」は「人」がいい。人数表記が「人」「名」とばらばら。
- ⑬質問通告のうち1問だけを掲載し、後は「その他の質問」にまとめてあって見やすい。
- ⑭議員によって文字数が違う／P14下段は独自スタイル。3つの「~について」も気になる。

【P15】

- ⑮「一般質問のその後」は、言いつ放し聞きつ放しではなく、行政側もその後の取り組みを真摯に行っていることが伝わる／程よく町執行部にプレッシャーをかけられて良い。
- ⑯質問後も一向に改善されないものも多いだろう。それを指摘する視点も大切ではないか。

【P16】

- ⑰若者の視点は大切だが、内容はマンネリ。他の大学、高校などにも対象を広げたらどうか。

【P17】

- ⑱傍聴者27人、ライブ配信再生807回、録画配信再生286回という町民の議会への関心度報告は良い／この数字を多いと捉えるか、少ないと考えるか。

【P18】(裏表紙)

- ⑲町民の声がダイレクトに反映されるよう、ハガキをつけてあるのにはびっくりした。寄せられた意見をどのように精査し、反映しているのか／どのくらい来ているのか。

【アンケート関連】

- ⑳町の公式LINEに、発行日に「今回の見どころ」などをつけて発信。
- ㉑「議会だより、あなたは(キミなら)どう読む？」(計画)
- ㉒中学生向けの議会だより作成、意見交換(計画)

【阿蘇市議会】68号(2023年8月発行)

【全体】

- ①図や写真の配置、構成は抜群に良い。
- ②ブルー系で色使いを統一し、落ち着いた紙面／青色ベースだが、少しくどい。他の色を配色しては／この配色も「あり」かもしれないが、写真はカラーでなければ内容が分からない。
- ③全体的に硬い印象／住民の声のような記事があった方が身近に感じられるのでは。
- ④市の広報紙と一線を画するという点があいまい。
- ⑤「出来上がってる広報」という印象だが、議員と事務局の広報に関わる比率はどれくらいか。

【表紙】

- ⑥写真が毎号素晴らしい。議員が写しているのか。
- ⑦インパクトがある／表紙にQRコードがあり、検索してみたくなる。

【P2～3】

- ⑧表紙に誘われて開けてみたら…。情報紙というより報告（記録）紙という印象で食い付きが悪い。
- ⑨議案についての「～について」も歯切れが悪いし、お知らせを読まされる感じ。

【P4～8】

- ⑩委員会報告が写真とマッチしている／各委員長報告の掲載方法が統一され、読みやすい。
- ⑪委員会審議は各委員の意見を反映したものではないか。委員長名ではなく所属委員全員の名前を掲載するか、あるいは載せないほうがコンセプトに沿うと思うがどうか。
- ⑫一般質問も同じだが、質問は常体（である、だ）で書かれ、答弁は敬体（です、ます）で表現してある。最近の広報紙ではあまり見られない書き方と思うが、意図は？
- ⑬答弁文中に「運用していますシステム」といった表現がある。「している」とすべきだろう。

【P9】

- ⑭定例会審議結果はもっと分かりやすくできないか。字だけで見づらい／殺風景。
- ⑮審議結果の「原案可決」はいずれも全会一致なのか。賛否が割れた場合はどう対応しているのか。

【P10～15】(一般質問)

- ⑯質問項目をまとめてあるのは分かりやすい／写真説明は具体的で、記事の理解を助けている。
- ⑰1人半ページでコンパクト。10人もの登壇なら適切だろう／1ページ2人掲載で窮屈に感じた。文字も小さく読みづらい／行間が詰まりすぎ。フォントを変えるだけでも随分印象が変わるのでは。
- ⑱議員質問に「名前」は必要ないのでは。「問」でよい／サブタイトル（答弁）を入れたらどうか。
- ⑲P15。傍聴案内は大きくて目に飛び込む／「場合によっては傍聴を制限」とはどんな場合？

【P16～19】

- ⑳広域連合等の報告が議会広報に掲載されていることに感心した。この場合、市広報への記事掲載はないのか／事務組合や広域連合の内容はそれぞれの広報紙でやるべきではないか。
- ㉑トンネル貫通式は地図を大きく、写真を小さくした方が分かりやすかったのでは。

【P20】(裏表紙)

- ㉒さまざまな会議、研修に参加しているのは分かるが、どれかを選択して紹介してもいいのでは。

【アンケート関連】

- ㉓市広報紙との違いを意識しながらも、数値等の整合性は確保する。
- ㉔広報紙とは別に、若年層向けに編集したWeb版の配信（計画）